

一般質問発言通告書

発言順位	13番
------	-----

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和4年9月6日

三島市議会議員 川原 章寛 様

三島市議会議員 8 番 大石 一太郎

質問事項 1	旧市街地を流れる各河川を繋ぐ水辺回廊のネットワーク形成を急げ
具体的内容	三島には素晴らしい水辺環境があり、未整備箇所のある御殿川・清住緑地を整備し、各河川を繋ぐ水辺回廊ネットワークを形成し、快適な住環境と、水辺景観の美しい街づくりを。
1	小浜池の水は、直近では平成20年・26年・29年と断続的な渇水状態となっており、異常気象が続く中、水の枯渇は根源の部分で解決していません。地下水の保全と涵養、規制を目指した「黄瀬川地域地下水利用対策協議会」の現状と今後の対応について伺います。
2	源兵衛川の修景整備・水辺環境保全の継承は重要であり、グラウンドワーク三島等の市民力は大切、市民活動の原点に戻り再評価を。今後の取り組み、連携の在り方について伺います。
3	2市1町で港・湧水・せせらぎウォーク実行委員会を設立、長泉町も参加し観光協会で広域に観光回遊ルート等で取り組むとしていたが、その後の経過と今後の対応方針について伺う。
4	旧市内に現存する水資源を活用して地域活性化、観光振興を図るためには、水の水辺回廊各河川を繋ぐ魅力的な動線が必要、未整備のある御殿川、清住緑地の歩道橋等基本計画を作成し、事業実施すべきで、美しい景観と清流ルート、水の水辺回廊整備に向け市の見解を伺います。
質問事項 2	中心市街地活性化に向けた土地利用政策の誘導を
具体的内容	静岡県の「本当に住みやすい街」の1位に三島広小路が選ばれ、新幹線等アクセスと移住定住してのワーケーションの場、自然環境の良さが評価されたことは嬉しい限りです。しかし一方では、大通り750mの区間の空洞化・マンション化が進んでいます。
1	大通りの空き店舗・空き地の利活用で、大規模用地へのマンション計画が進行している。個人・法人が所有する土地は、都市計画法・建築基準法等各種法令に適合すれば、民間開発が可能となるが、市はこれら街中の土地利用動向についてどこまで把握しているのか伺います。
2	マンション建設は、中心市街地の街並み景観形成、商店街活性化対策等、今後の市の土地利用・活性化対策にも影響しますので、市は対応方針、明確なビジョンを持つべきであります。 大通り地区も芝町通り地区も景観重点整備地区に指定されていますので、権利者や地元商店街と協議し、地区計画でマンション低層階の商業・業務としての利用を規定するのか、または地域住民からの意見等がなければ民間開発と、民間に委ねてしまうのか方針を伺います。
質問事項 3	ひとり親世帯、一人暮らし高齢者世帯の生活実態の把握と生活支援の強化を
具体的内容	ひとり親世帯も一人暮らし等高齢者も、支援制度を知らないで、活用していないケースがある。コロナ禍、物価高で苦しい生活実態を把握するため踏み込んだ市の取り組み調査で、適切な福祉サービスに繋げる相談と支援体制の構築が大切となります。
1	ひとり親世帯の自立支援に向けた三島市の取り組み状況はどうか。親と子供の生活苦、就労・就学状況、困窮内容など、直面する課題、現状把握について伺います。
2	一人暮らし高齢者は8,816人(世帯)、高齢者夫婦12,646人、その他で、要介護認定者は、4,878人で、要介護認定率は15.1%、75歳以上が約9割、高齢者世帯の5割強が老々介護です。市は一人暮らし等の高齢者の生活実態の把握にどこまで踏み込んでいるのか伺います。
3	ひとり親世帯の実態把握で、親の就労・収入・住宅環境、養育費の状況等や、子供の環境、就学状況の実態など踏み込んだ調査を行い、支援の充実を図ることが大切、市の考えを伺う。
4	団地のモデル事業や、一人暮らし8,816人を対象に、一定収入金額以下の人をリストアップして実態調査を行い、調査を通して、生活支援に繋げる考えはないか伺います。